

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

第349回化学への招待

主催 日本化学会東北支部
会期 9月6日(土)10時~14時
開催方式 対面式
会場 イオンいわき店1階(いわき市平字三倉68-1) [交通] JR常磐線「いわき」駅から徒歩10分
参加申込締切 事前申込不要、当日会場にて受付
参加費 無料
参加申込方法 E-mail
申込先・問合先 970-8034 いわき市平上荒川字長尾30 福島工業高等専門学校 森崇理 電話(0246)46-0823 E-mail: mori-t@fukushima-nct.ac.jp

第61回熱測定討論会

主催 日本熱測定学会
後援 日本化学会
会期 9月24日(水)10時~26日(金)16時20分
開催方式 対面式
会場 横浜国立大学常盤台キャンパス(横浜市保土ケ谷区常盤台79-1) [交通] 横浜市営地下鉄「三ツ沢上町」駅から徒歩20分
参加申込締切 9月5日(金)
記念講演、ミニシンポジウム、一般講演(口頭およびポスター)、受賞講演等を予定しています。
テーマ 一般講演は、(1)熱測定基盤(測定法・装置を含む)、(2)磁性体・錯体、(3)液体・溶液・集合体・界面、(4)金属・無機固体・セラミックス、(5)生体・医薬・食品、(6)高分子・有機物、(7)安全・環境・エネルギー、(8)熱科学の教育、に分類してプログラムを編成
参加費 日本熱測定学会、日本化学会会員7,000円 [9,000円]、日本熱測定学会、日本化学会学生会員2,000円 [3,000円]、非会員：一般11,000円 [13,000円]、学生3,000円 [4,000円] ※ [] 内は予約締切後の料金
参加申込方法 Web
申込先・問合先 日本熱測定学会 事務局 土信田裕子 電話(03)6310-6831 FAX(03)6759-3981 E-mail: netsu@mbd.nifty.com <https://www.netsu.org/61touron/>

25-2 エコマテリアル研究会

—結合と分解を操る高分子の科学—

主催 高分子学会エコマテリアル研究会
協賛 日本化学会
会期 10月10日(金)13時~16時50分
開催方式 対面式
会場 理化学研究所(和光)本部棟(C00)2階大会議室(和光市広沢2-1) [交通] 東武東上線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ副都心線「和光市」駅徒歩15分
参加申込締切 10月6日(月)
1. 運営委員長挨拶(理研) 阿部英喜
2. アンモニア水を用いた高分子分解と資源循環(千葉大) 青木大輔
3. 生分解性ポリエステル分子設計と生分解開始スイッチ機能の導入(群馬大) 橘 熊

野
4. 「高分子らしさ」に迫る超分子ポリマー(京大) 杉安和憲
5. ポリヒドロキシ酪酸は腸内細菌にケトン体を供与して、酪酸菌優位な腸内細菌叢を誘導する(東工科大) 佐藤拓己
6. エコマテリアル特性と機械特性の両立に向けた水素結合の利用(東大) 吉江尚子
7. 閉会の挨拶
参加費 高分子学会・日本化学会企業3,300円、大学・官公庁2,200円、学生1,100円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 104-0042 中央区入船3-10-9 新富町ビル6階 公益社団法人高分子学会 電話(03)5540-3770 FAX(03)5540-3737 E-mail: resg2@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

夢・化学21 化学への招待

—化学と遊ぼう—

主催 日本化学会中四国支部
会期 10月12日(日)10時~18時
開催方式 対面式
会場 島根大学総合理工学部1号館一階(松江市西川津町1060) [交通] 「島根大学前」バス停下車5分
参加申込締切 なし
化学実験を通して、化学の楽しさを体験します。実験テーマは、「シャボン玉を浮かべてみよう」、「バイカラーボトルをつくろう」、「水風船を作ってみよう」、「スライムを作ろう」、「マイナス196℃の世界」などの予定です。大学祭期間中ですので、合わせてお楽しみ下さい。
参加費 無料
参加申込方法 申込不要。自由に参加いただけます。
問合先 690-8504 松江市西川津町1060 島根大学総合理工学部 池上崇久 電話(0852)32-6423 E-mail: ikeue@riko.shimane-u.ac.jp <http://www.chem.shimane-u.ac.jp>

第44回
農薬製剤・施用法研究会
シンポジウム

主催 日本農薬学会農薬製剤・施用法研究会
共催 日本化学会
会期 10月16日(木)13時~17日(金)16時
開催方式 対面式
会場 はまぎんホールヴィアマーレ(横浜市西区みなとみらい3-1-1 横浜銀行本店ビル内1F) [交通] JR・横浜市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩5分
参加申込締切 早期割引：8月31日(日)まで、通常：10月8日(水)まで
特別講演
1. 農業用ドローン産業の現状と課題(仮)(丸山製作所営業本部営業企画部スマートアグリ課) 森谷圭一
2. バイオスティミュラントの基礎および動向(仮)(日本バイオスティミュラント協議会/愛知製鋼) 鈴木基史
3. 世代農業生産技術『Plant Drug Delivery

System』の開発へ向けて(仮)(九大院農) 石橋勇志
参加費 日本農薬学会会員：早期7,000円、通常12,000円、日本化学会会員：早期7,000円、通常12,000円、非会員：早期12,000円、通常14,000円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 第44回農薬製剤・施用法研究会シンポジウム事務局 https://service.dynacom.jp/acpartner/meeting/pssj/mypage/entry.php?k=2025autumn1_xqc6tkvr96vgHdQ

第69回日本セラミックス協会
東海北陸支部
東海北陸若手セラミスト懇話会
2025年秋季講演会

主催 日本セラミックス協会東海北陸支部
東海北陸若手セラミスト懇話会
後援 日本化学会
会期 10月17日(金)
開催方式 対面式
会場 あいち産業科学技術総合センター(豊田市八草町秋合1267-1) [交通] 東部丘陵線(リニモ)「陶磁資料館南」駅より徒歩2分
参加申込締切 9月30日(火)ただし定員(40名)になり次第
参加費 無料
参加申込方法 Web
申込先・問合先 470-0356 豊田市八草町秋合1267-1 あいち産業科学技術総合センター 技術支援部 瀬戸窯業試験場 高橋直哉 電話(0561)21-2116 <https://atyc.org/2025autumn/>

日本学術会議公開シンポジウム
AI導入による有機・高分子化学の
10年先の将来展望

主催 日本学術会議化学委員会有機化学部会
日本学術会議化学委員会高分子化学部会
後援 日本化学会
会期 10月20日(月)12時50分~17時30分
開催方式 対面式
会場 日本学術会議講堂(港区六本木7-22-34) [交通] 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口徒歩1分
参加申込締切 10月20日(月)12時50分、ただし定員(250名)になり次第
「AI導入による有機・高分子化学の10年先の将来展望」ポスター <https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/386-s-1020.html>
1. 趣旨説明(名大) 石原一彰
2. **第1部講演**
AIが描く材料開発の新たな姿(日本IBM東京基礎研) 武田征士
AIと化学者の“ひらめき”が共鳴する有機化学の未来(九大) 大嶋孝志
有機化学はAI技術をどのように使えるのか(京大) 松原誠二郎
3. **第2部講演**
ポリマーオミクス：データ駆動型高分子材料研究におけるデータプラットフォーム構築戦略(情報・システム研究機構) 吉田 亮
データ駆動高分子材料開発と“材料+Om-

ics”』（物質・材料研究機構/筑波大）内藤昌信
ビッグデータ駆動によるバイオ高分子材料の開発（京大）沼田圭司

4. 第3部講演

研究におけるAI活用の期待：次期科学技術・イノベーション基本計画におけるAI for Science推進の方向性（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局）永澤 剛

5. 第4部総合討論

（パネリスト）講演者＋（モデレーター）栗原和枝（東北大）

6. 閉会挨拶（名大）上垣外正己

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 日本学術会議化学委員会有機化学部会 石原一彰，高分子化学部会 上垣外正己
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScvfuyzuQ0xHtJtuFK01ucep4LEyhH_6BaT_04iEsczstqUwQ/viewform

問合先 464-8603 名古屋千種区不老町名古屋大学 大学院工学研究科 有機・高分子化学専攻 石原一彰 E-mail: bunkokaga ku@gmail.com

2025 年度第 2 回 化合物スクリーニング講習会

—スクリーニングを始めるにあたって
「アッセイ系構築から Hit to Lead まで」—

主 催 東京大学大学院薬学系研究科附属創薬機構

後 援 日本化学会

会 期 10 月 23 日（木）13 時 30 分～

開催方式 対面式

会 場 東京大学薬学部本館（西）4 階 408 会議室（文京区本郷 7-3-1）〔交通〕東京メトロ/都営大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩 7 分

参加申込締切 10 月 16 日（木）

ご自身の研究に役立つ新規活性化化合物発見や創薬を目指して化合物スクリーニングを計画されている方々を対象にどのようなことに注意して検討や準備をすればよいかについて、日本最大規模の公的化合物ライブラリーを管理運営し、化合物サンプル提供やアッセイ系構築等の支援経験豊富な弊機構の講師がわかりやすく紹介します。別途、希望者対象に弊機構施設の見学日を設定します。

(1) 化合物スクリーニング概論

(2) アッセイ系構築と HTS 実施例

(3) 化合物ライブラリーの紹介と利用方法

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 113-0033 文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院薬学系研究科附属創薬機構 電話(03)5841-1960 FAX(03)5841-1959 E-mail: ddiinfo3@mol.f.u-tokyo.ac.jp https://www.ddi.f.u-tokyo.ac.jp/screening_seminars/

プラズマ分光分析研究会 第 126 回講演会

—様々な分析に用いられる

プラズマ分光分析技術—

主 催 プラズマ分光分析研究会

協 賛 日本化学会

会 期 10 月 24 日（金）10 時～16 時 50 分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza（川崎市川崎区殿町 3-25-40）〔交通〕京急大師線「小島新田」駅徒歩 12 分
参加申込締切 10 月 14 日（火）

1. ミニトーチプラズマの特長と ICP-MS の様々な使用例の紹介（島津製作所分析計測事業部）松下知義

2. GD-OES による材料分析のお話（仮）（都産技研）湯川泰之

3. HR-ICP-MS のお話（仮）（原子力規制委員会）山本康太

4. 非対称流れ流動場分離法によるナノ粒子の粒径分布測定（仮）（日本製鉄）板橋大輔

5. IC-ICP-MS クロム・ヒ素等の形態別分析（仮）（産総研）中里哲也

6. Shimadzu Tokyo Innovation Plaza ラボツアー（装置見学会）

参加費 会員 2,000 円，非会員 5,000 円，学生会員 1,000 円，学生非会員 2,000 円，要旨集のみの購入 1 冊 2,000 円 ※当研究会の年会費は 3,000 円（学生会員は 1,000 円）です。全講演会要旨集の無料送付等の特典がありますので、ぜひこの機会にご入会下さい。

参加申込方法 Web

申込先・問合先 194-0392 八王子市堀之内 1432-1 プラズマ分光分析研究会 事務局 電話(042)816-3001 FAX(045)924-5689 E-mail: ozeki@plasma.es.titech.ac.jp <https://plasma251024.peatix.com>

第 76 回 日本電気泳動学会学術大会

主 催 日本電気泳動学会

共 催 日本化学会中国四国支部

会 期 10 月 25 日（土）10 時～26 日（日）18 時

開催方式 対面式

会 場 愛媛大学南加記念ホール，校友会館（松山市文京町 3）〔交通〕「松山市」駅，JR「松山」駅から市内電車「赤十字病院」駅より徒歩 2 分

参加申込締切 10 月 10 日（金）

電気泳動技術やその応用に関する依頼講演や一般講演などを口頭発表やポスター発表で実施する予定です。

参加費 事前登録：日本電気泳動学会会員 3,000 円，日本化学会 3,000 円，非会員 5,000 円など

参加申込方法 Web

申込先・問合先 790-8577 松山市文京町 2-5 愛媛大学 島崎洋次 電話(089)927-9617 E-mail: shimazaki.yoji.my@ehime-u.ac.jp <https://forms.office.com/r/TyFNy2WBaq?origin=lpLink>

青森地区講演会

主 催 日本化学会東北支部

会 期 10 月 31 日（金）14 時 30 分～15 時 30 分

開催方式 対面式

会 場 弘前大学理工学部 1 号館 4 階第 8 講義室（弘前市文京町 3）〔交通〕JR「弘前」駅からバスで約 10 分（「狼森」行「自衛隊」行「学園町」行「小栗山」行のいずれかに乗車し「弘前大学前」で下車）

参加申込締切 事前申込不要（当日会場受付）

特別講演

本講演会では、東京ガスネットワーク株式会社の相澤 望氏を招聘し、講演者の最先端研究についてご紹介いただきます。

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 036-8561 弘前市文京町 3 弘前大学理工学研究科 松田翔鳳 電話(0172)39-3573 E-mail: smatsuda@hirosaki-u.ac.jp

IQCE 量子化学探索講演会 2025

—量子化学で探る化学の最先端—

主 催 量子化学探索研究所

協 賛 日本化学会

会 期 11 月 6 日（木）13 時～17 時

開催方式 対面式

会 場 東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館 デジタル多目的ホール（目黒区大岡山 2-12-1）〔交通〕東急大井町線・目黒線「大岡山」駅徒歩 1 分

参加申込締切 10 月 31 日（金）

1. 開会挨拶
2. 前田 理（北大）
3. 大矢豊大（東理大）
4. 川崎常臣（東理大）
5. 原田真至（千葉大）
6. 渡辺七都稀（筑波大・IQCE 特別研究員）
7. 佐藤啓文（京大）
8. 伊藤 駿（東大）
9. 松原希宝（群馬大・IQCE 特別研究員）
10. 閉会挨拶

世話人：武次徹也，高柳敏幸，佐々木岳彦，山門英雄，山崎優一，原 潤 祐

参加費 無料

懇親会 17 時 30 分～19 時 30 分，東京科学大学本館地下 コミュニティ＆ワークラウンジ（先着 60 名）。会費 4,000 円（事前登録 10 月 31 日（金）まで振込），当日払は 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 量子化学探索研究所 E-mail: office_iqce@iqce.jp <https://sites.google.com/view/iqce2025>

第 54 回 薄膜・表面物理 基礎講座(2025)

—自動計測・自律実験とデータ駆動型解析
による薄膜表面物理の新展開—

主 催 応用物理学会薄膜・表面物理分科会

協 賛 日本化学会

会 期 11 月 12 日（水）9 時 50 分～17 時 20 分

開催方式 オンライン・対面併催

会 場 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館（第 2 フォーラム）（新宿区神楽坂 4-2-2）〔交通〕都営大江戸線「牛込神楽坂」駅 A3 出口下車徒歩 3 分，JR「飯田橋」駅西口/東京メトロ「飯田橋」駅 B3 出口下車徒歩 6 分
参加申込締切 11 月 7 日（金）

自律実験システム，インフォマティクスの活用，データ駆動型のスペクトル解析などを取り上げ，具体的な手法や事例を交えながら，基礎から応用までの理解を深めることを目的としています。大学生・大学院生・若手研究者を主な対象とし，研究や技術開発に役立つ知識を体系的に学ぶ場として企画しました。

参加費 応物会員（日本化学会会員）15,000円、学生無料

参加申込方法 Web

申込先 公益社団法人応用物理学会 事務局
岡本 下記 HP

問合先 113-0031 文京区根津 1-21-5 応物会館 公益社団法人応用物理学会 事務局
岡本 電話 (03) 3828-7721 E-mail: soka@jsap.or.jp <https://annex.jsap.or.jp/tfspd/基礎講座：自動計測・自律実験とデータ駆動型解>

日本膜学会 膜シンポジウム 2025

—“膜を究める”—

主催 日本膜学会

協賛 日本化学会

会期 11月27日(木)、28日(金)

開催方式 対面式

会場 関西大学 100 周年記念会館（吹田市山手町 3-3-35）〔交通〕阪急電鉄千里線「関大前」駅下車南口改札を出て徒歩約 5 分

参加申込締切 第 2 次事前参加登録および支払締切：11 月 17 日(月)。以降の参加申し込みは、当日受付にて受け付けます。

「膜シンポジウム 2025」を下記の要領で開催いたします。本年度の主題は“膜を究める”とし、人工膜・生体膜・境界領域における膜の研究者が深く議論し合うことで、“膜学”をさらに発展させることを目的とします。本会の理念である人工膜・生体膜・境界領域の融合を目指し、膜に関連する研究者・技術者が一堂に会して、多様な視点から活発に意見を交換し合う場にしたいと考えています。詳細は膜学会 HP (<https://www.maku-jp.org/conference/article/BAI9VUwg>) にてお知らせします。

プログラム：10 月 18 日(土)公開予定

講演要旨集：11 月 14 日(金)公開予定

参加費 参加登録料（主催団体は主催団体の個人会員および法人会員の社員、協賛学会員は協賛団体の個人会員に限りです）。第 1 次事前参加登録料：主催団体・協賛学会員 9,000 円（不課税）、学生 5,000 円（不課税）、法人参加登録（5 名まで参加可、法人会員の企業様に限りです）35,000 円（不課税）、非会員：27,500 円（税込）

懇親会 11 月 27 日(木)プログラム終了後、関西大学 100 周年記念会館にて。会費 7,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 113-0033 文京区本郷 5-26-5-702 日本膜学会事務局 渡部恭吉
電話/FAX (03) 3815-2818 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp <https://2025sympo.peatix.com>

ハロゲンシンポジウム キックオフシンポジウム

主催 ハロゲンシンポジウム

協賛 日本化学会

会期 11 月 28 日(金) 9 時～12 時

開催方式 オンライン・対面併催

会場 愛媛大学南加記念ホール（松山市文京町 3 愛媛大学城北キャンパス）〔交通〕JR「松山」駅から市内電車環状線乗車 15 分、「赤十字病院前」駅下車徒歩 3 分

参加申込締切 10 月 31 日(金)

海に囲まれる日本は、ハロゲンの資源大国です。日本フッ素化学会、臭素化学懇談会、ヨウ素学会が協力し、ハロゲンに関わる研究者が自由に交流できるハロゲン シンポジウムを企画します。

特別講演

1. フッ素のキャラクターを生かした機能性材料の創製（福井大/日本フッ素化学会会長）米沢 晋

2. 臭素化学懇談会とハロゲン利用ミニシンポジウム（愛媛大/臭素化学懇談会会長）宇野英満

3. 日本のヨウ素資源と最近のトピックス（千葉大/ヨウ素学会会長）荒井孝義

※尚、同日の午後に 2025 ハロゲン利用ミニシンポジウム ー第 17 回臭素化学懇談会年会在松山ーが開催されます。午後のシンポジウムに対面で参加される方は、2025 ハロゲン利用ミニシンポジウム ー第 17 回臭素化学懇談会年会在松山ーに別途申込が必要です。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合先 ハロゲンシンポジウム・千葉大学大学院理学研究院 荒井孝義 E-mail: tarai@faculty.chiba-u.jp <https://ciric.chiba-u.jp/halogen/index.html>

2025 年度 東海支部先端化学セミナー —先端エネルギーデバイス—

主催 日本化学会東海支部

会期 12 月 6 日(土) 13 時 30 分～15 時 50 分

開催方式 対面式

会場 信州大学理学部第 1 講義室（松本市旭 3-1-1）〔交通〕「松本」駅からバスを利用する場合信大横田循環線または浅間線に乗車、「信州大学前」下車

参加申込締切 12 月 5 日(金)

1. 蓄電固体エネルギーデバイスの高性能化に向けた界面科学（名大院工）入山恭寿
2. 白金族金属および酸化物ナノシートの合成と電気化学応用（信州大アクリ・リジェネレーション機構）杉本 涉

※セミナー終了後、ご希望の方には、信州大学アクリ・リジェネレーション機構共創研究センターの施設内をご見学いただけます。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 信州大学理学部理学科化学コース <https://forms.gle/WCffYNX5zeupaRAy7>

問合先 390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学理学部理学科化学コース 竹内あかり E-mail: taakari@shinshu-u.ac.jp

第 45 回水素エネルギー協会 (HESS) 大会

主催 水素エネルギー協会

協賛 日本化学会

会期 12 月 10 日(水) 10 時～11 日(木) 17 時

開催方式 オンライン・対面併催

会場 対面会場：東京大学浅野キャンパス 武田ホール（文京区弥生 2-1-16）〔交通〕東京メトロ千代田線「根津」駅下車 5 分

参加申込締切 早期割引：10 月 1 日(水)～

11 月 15 日(土) 通常料金：11 月 16 日(日)～12 月 11 日(木)

研究論文発表（口頭）：12 月 10 日(水)、11 日(木)

研究論文発表（ポスター）：12 月 11 日(木)（対面のみ）

特別講演：12 月 10 日(水)、11 日(木)

参加費 HESS 会員 8,000 円（学生 2,000 円）、協賛会員 8,800 円（学生 2,200 円）、非会員 16,500 円（学生 3,300 円）※11 月 16 日(日)以降は 2,000 円増（学生 1,000 円増）

懇親会 12 月 10 日(水)。会費 7,000 円（参加登録者対象・事前申込制）

参加申込方法 Web

申込先 一般社団法人水素エネルギー協会 <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/hessecsj2025>

問合先 240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学 エネルギー工学棟 402 室内 米富美登代 E-mail: secretary@hess.jp <https://www.hess.jp/>

日本膜学会 「膜学実験法 —人工膜編—」 講習会

主催 日本膜学会

協賛 日本化学会

会期 1 月 15 日(木) 9 時 30 分～17 時

開催方式 対面式

会場 工学院大学新宿キャンパス（新宿区西新宿 1-24-2）〔交通〕JR「新宿」駅西口より徒歩 5 分

参加申込締切 1 月 9 日(金)。1 月 9 日(金)以降の参加申込みは、当日、会場にて受け付けます。

日本膜学会では、これまで「膜学実験法 —人工膜編—」（改訂版）をテキストに用い、膜作製法や膜分離技術について学ぶ講習会を開催してきました。テキストの執筆者が講師となり、膜作りの重要なノウハウや膜性能の評価法などをわかりやすく説明する講習会として、これまでに数多くの参加者が人工膜の基礎を学んでこられました。本年の講習会では、1 日で「膜学実験法 —人工膜編—」の基礎を広い範囲にわたって集中的に学べるような講義を企画しました。企業・研究機関・大学などで新たに膜の研究を始める方や膜の基礎を学び直したい方、今後の研究に膜技術を取り入れようとしている方に最適な講座です。多数のご参加をお待ちしています。

1. 膜分離技術の基礎 —各種透過法と透過理論（工学院大）赤松憲樹

2. 無機膜の製膜法、細孔評価と気体分離（芝浦工大）野村幹弘

3. 有機膜の製膜法と透過測定法（神戸大）松山秀人

4. 膜透過の分子シミュレーション（工学院大）高羽洋充

参加費 日本膜学会の個人会員および法人会員の社員、協賛学会の個人会員、先端膜工学研究推進機構会員企業の社員 19,800 円、会員外 30,800 円、学生 8,800 円（消費税込）

参加申込方法 Web

申込先・問合先 113-0033 文京区本郷 5-26-5-702 日本膜学会事務局 渡部 電話 (03) 3815-2818 FAX (03) 3815-1818 E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp <https://school2025.peatix.com>